

東北の間を指して進む若干里
 小して兩舸相會すと云各舸方向を
 変せしより出會までの距離如何
 甲乙丙の三商あり甲ハ六十四圓小
 二六
 二六
 て時計一器を買ひ若干の利を加へ
 て乙へ賣り乙復之を丙へ賣りて八
 十一圓を得たり此利潤の割合甲の
 利も丙小同じと云乙の買價如何
 米一万五千一百二十九俵あり一百
 餘艘の船を以て某の湊へ廻漕せん
 と各船等分小之を積み一齊に出帆
 す然る小一艘不圖暗礁に衝抵し已
 小沉んとも因て之を救んため其積
 米を一俵宛他の船々へ分配せし小
 残米只一俵を存も各船原積俵數如

何
 人あり二園を有も一ハ方形今一ハ
 四六
 直形の園也然る小其四方の長さを
 測れハ二園相同しけ是とも面積ハ
 大なる差ふ即ち方園ハ七百八十四歩
 直園ハ六百四十歩ありと云直形の
 園其縦横各如何
 五六
 東京に於て博覧大會あり甲乙二人
 加賀國金澤を一齊に發足し甲ハ東
 海道乙ハ北陸道より往き同時小東
 京小着し備所々残りなく見物し甲
 ハ北陸道乙ハ東海道より家小歸り
 其日數甲ハ一十六日乙ハ二十日四
 分の一小して着ると云然らハ往路
 幾日小して東京に到着せしや

開立方

- 一 二十五万四十七個あり其立方商如何
- 二 九億七千二十九万九千個あり其立方商如何
- 三 三百七十三個二分四厘八毛あり其立方商如何
- 四 六十一個六分二厘九毛八絲七忽五微あり其立方商如何
- 五 六万六千九百九十八個四分五厘七毛あり其立方商如何
- 六 三千六十一億八千二百二十四個あり其立方商如何
- 七 二分一毛二絲三忽五沙六塵あり其立方商如何

八二十三個五分六厘五毛八絲四忽八
 微三纖六沙三塵あり其立方商如何
 九一十萬二千七百六十六個二分八厘
 五毛五絲四微あり其立方商如何
 十 八億五千九百萬五百二十六個二分
 一厘六毛あり其立方商如何
 十一 五千九百八十四億三千七百七十五
 萬四百八十三個あり其立方商如何
 十二 三十七萬六千九百九十二個九分三
 厘五毛四絲二忽四微あり其立方商
 如何
 十三 五百五十四個六分一毛八絲二忽一
 微六纖九沙六塵あり其立方商如何
 十四 六千七百七十二億九千八百七十八
 萬七千七百六十八個あり其立方商

如何
 十五 一億二千六百五萬二千九百四十二
 個七分四厘四毛あり其立方商如何
 十六 三千五百七十億四百三十八萬六千
 五百八十四個あり其立方商如何
 十七 二千一百六十七億五千六百八十八
 萬二千三百四十三個あり其立方商
 如何
 十八 八千六百三十五億九千一十三萬二
 千六百九十三個九分八厘九毛あり
 其立方商如何
 十九 九千五百五十四萬四千二百七十五
 個六分二厘一毛六絲九忽六微あり
 其立方商如何
 二十 六十六萬四千七百六十五個九分九厘

九毛三忽三微四纖九沙六塵あり其立方商如何
 七十二億七千九十四万一千二百四十八個一分一厘七毛あり其立方商如何
 五億五千三十三万九千八百六十七個七分一厘三毛三絲四忽九微あり其立方商如何
 四十六万三千五百四十一個六厘六絲二忽二纖八沙八塵あり其立方商如何
 二億六千四百八十三万一千九百一十八個九分六厘八毛二絲三忽二微あり其立方商如何
 一億一千一百九万四百一十個八分

六厘九毛二絲四忽八微あり其立方商如何
 八百二十個あり其立方商如何以下シ
五問商五
位ヲ請フ
 一個六分あり其立方商如何
 四十四万個あり其立方商如何
 七厘一毛あり其立方商如何
 一十二個六分あり其立方商如何
 三億二千万個あり其立方商如何以下シ
以下六問商
六位ヲ請フ
 六個三分あり其立方商如何
 二厘七毛四絲あり其立方商如何
 五忽六微九纖あり其立方商如何
 二毛一絲二忽あり其立方商如何
 一毛五絲八忽七微九纖六沙二塵九

六二も、精選小數あり其立方商如何

七四 二百八十二個四千九十六分の二十

五百五十三個あり其立方商如何

八三 七万二千八百五十四個二十六万二

千一百四十四分の一十五万六千二

百四十一個あり其立方商如何

九二 直径三寸の球あり其重さ六百八十

匁も、を知り今之と同質にて重さ

四十三貫五百二十匁の球あり此直

径幾何も、や

十四 黄金九貫六百七十八匁と銀五貫二

百三十六匁とい其積同じとも今縦

四寸四分横一寸七分厚さ七分の黄

金あり之と重さ相同しき立方形の

銀塊あらハ其方幾何ありへきや

一四 升法ハ体積六百四十八寸二分七厘

を以て諸物一斗を量り今人あり容

積一石暨一十石の二個の管を立方

形に作んてを請ふ各方幾何にして

可ありや

二四 縦六尺横三尺深さ五尺の管あり今

立方形にして容積同様あり管を作

らんとも其方幾何ふ為すへきや

三四 縦横暨深さ相等しき管あり其容積

三石九斗二升也此方幾何ありや

匠夫あり容積一十七石六斗四升の

管を作し其寸法縦ハ横の二倍深さ

ハ縦の三分一ありて縦横深各如

何

五四 球積を置き奇零五二三六此數を球積率と名

を以て除き得る商乃ち球徑の再乘

冪也以て今積五十二億五千四百七

十二万五千九百七十四立方寸三分

七厘四毛八絲ある球の直徑を求め

ん事を請ふ幾何あるや

六四 縦八寸横六寸高さ三寸の物あり其

積二十七倍の立方形を作らんとし

方幾何あるして可なりや

七四 立方形あり其体積二百九十九万八

千四百四十二寸八分八厘八毛也此

外面積總計如何

八四 鑄師あり鉛若干を以て銃丸を鑄

直徑五分あるハ五十九万二千七百

四個を造るへし今此鉛を以て二十

一万六千個を鑄造せハ其銃丸の直
徑幾何あるへきや

九四 立方形の蠟石あり其一面の積一十

二方寸四分の一にして代價一圓二

錢九厘とも右同質ふて代價二十七

圓七十八錢三厘ある立方石あり此

外面總積如何

一五 立方形にして体積一万五千六百二

十五尺の物あり其一角より之小反

對も了一角の直徑如何

一五 人あり立方形の黄金を有る其大さ

を言ハる但し五分立方小付價四十

六圓八十七錢五厘とし以て算せハ

代價二万四千圓あるへしと云其黄

金方幾何あるや

二五

立方瓶の管あり其積七千五百二十九立方寸五分三厘六毛也今此外面を画塗せんとも其料方二寸四分不付一十二錢也費用總計如何

三五

縦横同尺ふて高さ縦の倍ある花崗石あり其積二百五立方尺六毛四絲六忽四微也縦横高各如何

四五

甲乙二個同質の球あり其重さの割合四百五十九と一百三十六との如し然して甲球の直径三尺七寸八分也乙球の直径如何

五五

鉛若干あり其積一立方尺の重さ八十五貫七百八十六忽とも今此鉛を以て重さ二貫忽の銃丸を鑄造せんとも其直径幾何不鳥へきや

六五

一室あり縦横同尺高さハ縦の半にして其積一万八百五十八立方尺八分一厘九毛五絲也今此室小櫃を敷かハ其費用如何但し長け五尺四寸幅四尺不付代價三圓六十錢とも

七五

水槽あり其積二十五万六千四十七立方寸八分七厘五毛ふして縦横高各同寸也今其積を異へすして縦横各二寸五分を増さんとも縦横高各幾何不るへきや

八五

銀あり縦二寸五分横一寸二分五厘厚四分ふして代價二十五圓也今同質の銀球あり右銀價を以て算せば代價六百七十圓二十錢八厘也と此球直径幾何不るや

九五 真球形小巻たる直徑六寸の糸あり

四女其外部より繰り取り等分せんとし各女順次小取し一球の徑小て幾寸小定むべきや

十六 甲乙二名與小計りて縦八寸横三寸厚き五分の純銀を買ふ其價を償ふ
一甲ハ一百一十三圓一十二錢乙ハ五十六圓五十六錢也今此銀を以て各名償へる金高小應し二個の球を造んとす直徑各幾何小して可なりや

重利法

利足を拂ふべき定期毎小利は利を累る者

一 年利一割二分小て歳尾小利を拂ふ

へる重利法を以て金二百五十圓を

二ヶ年貸さハ其利足金如何

二 一ヶ年一割一分ノ重利法小て金三百圓ヲ貸し年尾毎日利を累は三年

小違ふ其利足金如何

三 年利一割小て半年毎小利を拂ふへ

き重利法を以て金二百圓を三年半

貸さハ利足金幾何を得べきや

四 一ヶ年一割の重利法小て金一百六十圓を貸し年尾毎日利を累ぬ其八

年半の元利總計如何

五 一月一分小て半年毎ニ利を累ぬ

へる重利法を以て金八十五圓を借

り四年三ヶ月を経過返済せし元利
總計幾何ありしや

六 一月一分二を以て四ヶ月毎小利を
累ぬへき重利法より金一百圓を三
年四ヶ月貸さし其元利總計如何
七 年利一割四分小て半年毎小利を累
ぬへき定を以て金若干圓を貸し三
年を経過元利三百圓一十四錢六厘
有奇を總計を此元金如何

八 年利一割二分小て金若干圓を會社
へ預け年尾毎小得し利金を元小累
過五年を経過元利一十六万五千二
百一十九圓五十三錢二厘八毛を總
計す最初の預金如何

九 金三百六十圓を年利一割五分小て

五ヶ年貸す其單利法より得し利金
と年尾毎小利を累し重利法より得
し利金とハ其差幾何ありしや

十 人あり年利一割四分小て金若干圓
を貸し年尾毎小利を累過五ヶ年小
遠し利金二万八千九百一十九圓二
十錢五厘七毛を得たりと云此元金
如何

十一 年利七分小て金四百圓を貸し年尾
毎小利を累過一十三年を経過ハ利金
若干を得へし之を平均せハ年々利
金幾何ありしや

十二 人あり年利一割二分小て四ヶ月毎
小利を累へき金若干圓を借り六年
より利金二百五十六圓四十五錢

四厘有奇を生を倘し之れ單利法かりせハ幾何を償ふて足るべきや

三 年利七分ふて金六百圓を貸し年尾毎小利を累積七ヶ年ふ速ふ倘し一年一割四分の單利法よて三年半貸すあらハ利金の差幾何かや

四 人あり年尾毎百二百圓を得ると然るに年利一割ふて歳尾毎小利を累へき重利法を以て年々の得金小利を累積第四年の尾より速ひて之を總計す其金高如何

五 人あり年利一割よて年尾毎小利を累へき定を以て金九千一百圓を貸せしふ七ヶ年よて利金若干を得たり今一年一割三分の單利法よて

右同年間ふ同様の利金を得んふハ元金幾何を貸さへきや

六 年利一割六分の單利法よて金六千四十六圓三十錢を八年貸して利金若干を得たり今年利二割よて年尾毎小利を累積五ヶ年の間ふ右同様の利金を得んふハ元金幾何を貸さへきや

七 人あり甲乙二名ふ同し金高を同時ふ同利法よて年尾毎小利を累へき定を以て貸を然るに甲ハ若干年を経て元利總計四万三千九百四圓を償還し其二ヶ年の後乙亦元利總計五万五千七十三圓一十七錢七厘六毛を返済すと云此年利幾何かや

八人あり金若干圓を二等分し年利二割ふて之を貸せ然るより一八單利一八年尾毎小利を累ぬへき定也故より六ヶ年よりして利金一千四百七十三圓七十二錢を差ふと云右より若干圓とハ幾何なりや

九人あり金若干圓を某銀行へ預け利小利を累ね置き第七年より年尾毎より一十圓を永續得んと欲す右利附一月一分を以て年尾毎小拂ふ定也由て今幾何金を預けて可なりや
 十人あり金六万二千五百圓を借り四ヶ月毎より利金三千七百五十圓を拂ふへき定也然るより其利を累ね置き三年毎小之を拂ふ片ハ其利金如何

一人あり甲乙二名小同し金高を同時小貸す其年利甲ハ一割二分乙ハ一割四分小して年尾毎小利を累へき定也然る故より三ヶ年の元利甲より乙ハ二百三十九圓四十二錢五厘多しと云其元金各如何

二人あり年利二割ふて年尾毎小利を累へき定を以て金若干圓を貸し五年を経る元利總計若干を受納せり倘し七ヶ年貸し置あらハ其元利以前より七百六十九圓八十二錢四厘多らるへしと云此元金如何

三人あり金二百五十圓を借り其利附一年一割ふて歳尾毎小利を拂ふへき約也然るより其年より年尾毎小

返金を以て八年に償還せんと欲し其等返金如何

四二 人あり年利九分より年尾に利を累ぬへき若干金を會社に預け其年より年尾毎に一百圓を一十年間得んと欲し今幾何金を預け置かば一十年に盡へきや

五二 某國立銀行預金利率法の定則に於て一月一分より半年毎に渡ると然るを之を年尾毎に渡るとせし金一百圓を一十年間利を累ね預けに於て利金幾何を差もるや

數學連數主を主を

- 一 初數二個追加數三ある者あり其二十六次の末數如何
- 二 初數六十八個追加數五ある者あり其二十二次の末數如何
- 三 初數二個よりして八次の末數一十六個ある者あり其總數如何
- 四 初數五百個よりして二十次の末數六十三個ある者あり其總數如何
- 五 初數二個追加數七ある者あり其五十次の總數如何
- 六 初數七個追加數三分の二ある者あり其七十次の總數如何
- 七 初數一十個追加數三分の一ある者あり其二十一次の總數如何

八 初數二個にして其二十次の末數二十個あるあり此追加數如何

九 初數八個末數一百二十個追加數七ある者あり其次數如何

十 初數五個末數八十六個にして總數一千二百七十四個ある者あり其次數如何

十一 初末二數の和二十四個追加數五分の四にして二十六次の者あり其初數暨末數各如何

十二 追加數三にして二十九次の總數一千三百三十四個の者あり其初數暨末數各如何

十三 五等級を分ち賞を賜ふあり第一等金五百八十圓を賜ハリ以下追加五

十四 十六圓を減す第五等の賞金如何若干金あり七部に分ち其最多ある者八百五十圓以下追加等しく減し最少ある者三百七十圓也右小若干金とハ幾何あるや

十五 兒童集りて襟實を分ち約して云々先づ鬮を以て順次を定め第一の者一百三十個を取り以下追加七個を減すへくと乃ち約の如く分ち未ある者四十六個を得る此人員如何

十六 甲乙丙丁戊の五高利金若干を得追加同差金を以て之を分ち甲商八圓七十五錢戊商一十四圓一十五錢を得たり乙丙丁の得金各如何

十七 甲乙丙丁戊己六名の勲功を賞し金

十八 甲乙丙丁戊己六名の勲功を賞し金

一万一百五十五圓を賜ハ了甲ハ上官たるを以て賞金最も多く以下遊小一百二十三圓を減以甲暨己の賜金幾何あるや

八 人あり二百二十五葉の書一卷を讀む毎日同紙數を追加し若干日小して讀卒る其初終兩日又讀む所の紙數合せて七十五葉也と云若干日とハ幾何あるや

九 若干の田あり甲乙丙丁戊己の六名をして之を分ち耕せしむ其法甲より遊小一反六畝一十歩を減し甲己二名の耕地合計三町二反七畝あるを要きて戊耕す所の反別各如何直線の道あり石一百個を置く其石

每小一間を隔つと茲ハ人あり其第一石より三間隔つと一点地小於て各石を順次ハ一個宛取聚むと云其歩みし總里程如何

一 利金若干あり甲乙丙丁戊の五商をして之を分つと其働ハ應し甲より遊小一十九圓五錢多らむ然して甲丙戊の三名共小三百一圓九十五錢を得たりし丁各幾何を得るや
二 重さ五十六匁の金片あり七人小て之を買ひ遊次同差を以て分る故小第一人の得る所第七人より六匁六分多きを以て償金亦一十六圓五十二錢を差ふ第一人の償金如何

三 大黒天小槌を振り三週間日曜ヲ除ク貧

民を賑恤を但し一振毎小金七圓五十錢を出し以て五人小分給をへく定む然して初日二百人逐て日々同人員を増して満日小速れハ黎明より數百人堂前小群集し乃ち小槌一百七十六振を恤む然らハ初日より恤を受る者幾何人暨其金高總計如何

四二

金若干圓あり甲乙丙丁の四人逆次同差を以て之を分つ甲乙共小五十圓を得又丙丁共小二十七圓を得ると各名得金如何

五二

甲乙丙丁戊五名をして孟子一部を寫さしむ甲乙共小一万四千三百六十六字を寫し又丁戊共小一万三千

三百八十二字を寫そ而して甲より

逆小同差也孟子一部の文字數如何

六二

田若干あり甲乙丙丁戊己の六名逆

次同差を以て之を分ち甲乙二名共

小得る所と丁戊己三名共小得る所

同數を要以然して甲乙二名共

小三反八畝一十五歩を得たり各名

所得如何

七二

果六百個あり兒童之を分つ最初の

一人二十五個以下逆小同數を増し

最後の一人六十一個を得て尚四十

一個を剩る此逆加數如何

匠夫七人あり一事を營作し其料若干を得作業の優劣小より甲乙丙丁

戊己庚の七等を品し逆次同差を以

て之を分ち甲乙丙共小二十六圓二
 十五錢を得又戊己庚共小一十七圓
 二十五錢を得たり各名得金如何
 九 采若干俵四斗あり通次同差法を以
 て九人小分つ第一第五の二名共小
 五十三俵と一斗六升又第五第九の
 二名合して三十俵を得る第三第八
 二名の所得各如何
 十三 人あり東京府小行んと住所を發し
 日々通小同里數を減し一十一日小
 して到る其初日と第四日小歩む所
 共小三十里二十二町半又第七第九
 の兩日共小一十八里九町を進むと
 云住所より東京府の里程如何

度學連數倍乘を云

- 一 初數二個倍數二ある者あり其五次の未數如何
- 二 初數九個倍數四ある者あり其八次の未數如何
- 三 初數六十四個倍數四分の一ある者あり其一十二次の未數如何
- 四 初數二個倍數三ある者あり其八次總數如何
- 五 初數四千九十六個倍數四分の三ある者あり其一十二次總數如何
- 六 二個六個一十八個等の連數あり其二十次總數如何
- 七 五百一十二個一百二十八個三十二個等の連數あり其六次總數如何

八 初數五個未數三千六百四十五個暨倍數三ある者あり其總數如何

九 初數二十六万二千一百四十四個未數一個暨倍數四分の一ある者あり其總數如何

十 初數六百二十五個倍數一個二分ふして總數四千六百五十一個ある者あり其未數如何

十一 未數一千七百九十二個總數一十三万四千一百九十七個倍數三分の二ある者あり其初數如何

十二 倍數三ある一十二次の總數一百八十六万四千個の者あり其初數如何

十三 初數一十七個未數三百一十一万四千四百九十九個暨總數四百五十一万七

十四 千二百四十個の者あり其倍數如何

十五 若干金あり甲乙丙丁戊の五名ふ分つ其法甲以下逆ふ半高なるを要を故ふ甲の得金七圓二十錢也此金高總計暨戊の所得各如何

十六 農夫あり大麥四升を蒔きしふ生を了し二斗八升之を蒔きしふ翌年一石九斗六升を生じ又之を蒔き某三年一十三石七斗二升を生産を連年斯の如く第八年ふ速りかハ生を了所の麥高幾何あるや

十七 人あり年甫ふ某酒造の美酒預り証券を買ひ置く然るふ第六月より月々一割宛量の減勘をへき定ふるを以て第九月ふ速り存ふる所一石六

十八

斗四升二勺五抄也証券酒量如何

七十 人あり金若干圓を借り八節ふ之を

償還を立春の返金六百二十五圓毎

節通ふ二割を減し冬至小遠て皆済

も其返金總計如何

八十 金四千六百五十一圓あり甲乙丙丁

戊の五名ふ之を分る其法甲以下逆

次二割増ふるを要し甲戊二名の得

金各如何

九十 四名の穀商大豆若干石を買入る之

を分る其得る所は三十六石丙ハ

五十四石ふして甲以下逆次倍數相

等し甲丁得る所各如何

十一 某大區居住の士農工商を調査する

小士以下逆次倍數等し乃ち士五千

人工三万一千二百五十人也四民總

員如何

十二 書籍二千三百一十四部あり元亨利

貞の四徳を以て區分を元最も少し

以下逆次一奇零六倍を元暨貞を

部數各如何

十三 金若干圓あり若干人員をして逆次

一割五分を減して之を分たしむ最

多の得金三百二十圓最少ありハ一

百六十七圓四錢二厘也若干圓とハ

幾何ありヤ

十四 人あり一書を謄寫を初日二千五百

字毎日逆次若干倍し第五日五千一

百八十四字を寫すと第三第四の両

日寫る所各如何

四二 一十一人あり米若干石を分つ第一
 人一十石四斗八升五合七勺六秒を
 得以下逆次若干倍も乃ち第十一
 の得米九十七石六斗五升六合二勺
 五抄也第六人の得了所如何
 五二 金銀銅錢錫若干あり金二十四匁以
 下銀一匁半も五金總計如何
 六二 金四百一十圓四十六錢あり逆次等
 倍數を以て若干人員ふ之を分つ最
 多の得金一百四十四圓六錢最少の
 得金三十七圓五十錢也此倍數如何
 匠夫若干名あり工價八百七圓二十
 四錢四厘を得逆次二割増の法を以
 て之を分了最少の得金六十二圓五
 十錢也最多あり者幾何を得了也
 七二

八二 人あり馬牛羊豕雞共ふ若干を飼ふ
 馬牛合せて二十八頭又羊豕併せ二
 百五十二頭ふして馬以下逆次倍數
 等しと云雞幾何ありや
 九二 田三十町六反六畝あり甲乙丙丁戊
 己六名の農夫をして分ち耕せしむ
 甲乙丙耕も所合せて三町四反二十
 歩ふして甲より以下逆次倍數等し
 丙丁耕も所各如何
 十二 富人あり窮人を救助を初日米七粒
 を給し逐て毎日倍増もつ等しく
 第十八日ふ逮了其日給もつ所一百
 三十九石四斗四升反りよ六万四千
八百二十七粒を
 以て一三万三千四百五十三粒ふし
 て初日より二百九石一斗六升五万

一百七十六粒を總計も此倍數如何

累乘開方

- 一 十億二千六百六十二万五千六百八十一個あり四乘開商吾三乘開商也以下倣之如何但平方再開を許さず
- 二 二十一万七千六百七十八個二分三厘三毛六絲あり四乘開商如何
- 三 七千四百一十六個三分七厘八毛八絲一忽八微五纖六沙あり四乘開商如何
- 四 二億五千五百二十六万三千二百五十個八分四厘一毛六絲あり四乘開商如何
- 五 二十一億五千一百四十九万七千四百三十二個七分九厘五毛三絲二忽一微六纖一沙あり四乘開商如何

六 一十億七千三百七十四万一千八百
 二十四個あり五乘開商如何
 七 二十八万一千五百三十個五分六厘
 八毛四絲三忽あり五乘開商如何
 八 五十七個六分六厘五毛三忽九微六
 沙二塵五埃あり五乘開商如何
 九 一百八十億二千三十二万四千七百
 七個三厘一毛二絲五忽あり五乘開
 商如何
 十 三十五億一千八百七十四万三千七
 百六十一個あり六乘開商如何 但平
 立復
 十一 一百五億六百九十一万二千五百七
 十個四分四厘五毛八絲二忽四微あ
 り六乘開商如何

二十 二百九十五万九百三個四分六厘五
 毛五絲七忽四微四纖あり七乘開商
 如何
 三十 五億六千六百一十六万一千八十六
 個六分六厘二毛七絲七忽一微二纖
 あり七乘開商如何
 四十 五千四百個あり四乘開商 位五
 如何
 五十 三十六万五千個あり四乘開商 位六
 如何
 六十 二億五千四百八十万個あり五乘開
 商 位四
 如何
 七十 六厘二毛五絲あり五乘開商 位五
 如何
 八十 四百八十九個あり六乘開商 位四
 如何
 九十 一毛五絲九忽九微あり六乘開商 位五
 如何

十二 八十一万四千五百個あり七乘開商

十三 如何

一二 二分七厘あり七乘開商^{位四}如何

一一 人あり金三百二十圓を貸し毎年未

利を累結五ヶ年を経て元利總計六

百四十三圓六十三錢四厘三毛を受

納す此年利法如何

一〇 人あり毎四ヶ月利を累へき金三万

一千二百五十圓を借り一年八ヶ月

を経て元金ノ他六千七百七十圓四

十錢三厘二毛を償ふ此月利法如何

九 人あり金一万二百四十圓を銀行小

預入を而して毎年尾受くへき息金

小利を累結置き五年を経て元利總

計一万四千七百圓八十四錢四厘三

毛を下受も此年利法幾何ありや

五二 一月某日より連日雪ふ其積雪を

度了り初日より逆次等倍し初日八

寸の雪第六日六尺七分五厘も速

六二 第四日積雪幾何ありや

人あり八子小産を分ち耕地を與ふ

長子も九十三町三反一畝六歩末子

もハ二十六町四畝五歩を以てし末

子以上逆次倍數を等くも第三第五

七二 子各幾何を得るや

甲乙丙丁戊己庚の七人相與ふ商業

を開く其出金甲以下逆次等倍も故

小某の期利潤の配分甲乙二名共ハ

九十二圓一十六錢己庚共ハ二百八

十一圓二十五錢を以てし其當を得

八二 丙丁戊三名共小幾何を得へきや
人あり一年一割五分の單利法ふて
金四百八十圓を貸し若干年を経て
元利八百四十圓を受納も之毎年尾
利を累了重利法ありせハ年利幾何
小當りや

九二 人あり毎年尾利を累へき若干金を
借り若干年を経し小九百七十六圓
五十六錢二厘五毛の債を負ふ而し
て更小五ヶ年を経元利共小一千四
百三十四圓八十九錢七毛を償ふて
皆済も試み小此五年間利法を同じ
くす了單利とせハ息金の減も了了
幾何あるや

十三 羅紗あり其織元ふて一卷の價額四

一三 十圓ふるを或人五商の手を経て買
受し小七十三圓七十錢也今其各商
利も了所の割合總て齊しとせハ第
二商の利金如何

二三 人あり毎年尾利を累了約を以て金
三百一十二圓五十錢を貸し七年を
経て元利共小一千一百一十九圓七
十錢四厘を受納も若し利法暨年
限を同じし單利ふて此元利を得ん
小ハ幾何金を貸もへきや

二三 人あり年一割二分の單利法を以て
金五百二十圓を借り七年を経て元
利若干を償ふ若し毎年尾利を累了
て此元利あらしめハ年利法の減も
了了幾何あるや

三三 人あり金五百一十二圓を貯藏す其子竊小若干分を消費し翌月復殘金の若干分を消費を斯の如く毎月等しく其現存を了所の若干分を私費を了了五ヶ月ふして僅小一百二十一圓五十錢を剩を毎月の消費金各如何

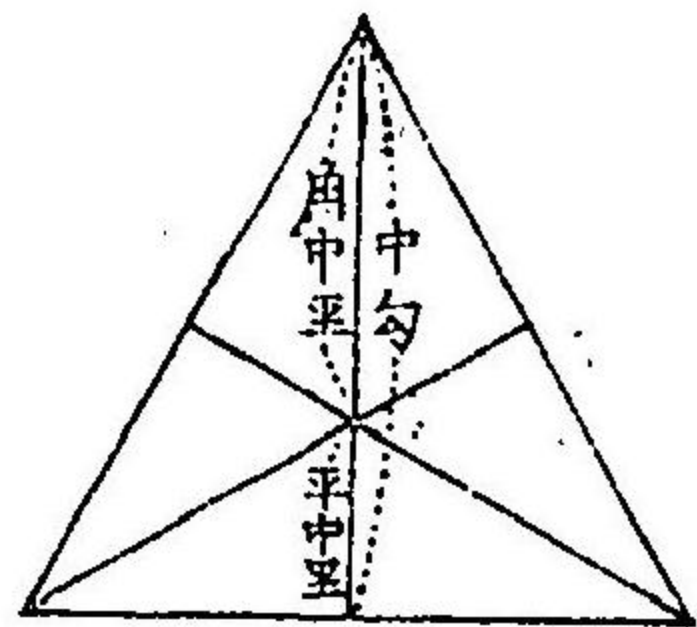
四三

職工一十名あり一事を營工價八百七十一圓七十錢四厘九毛を得各工作業の巧拙依り甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十等を品し癸以上逆次等倍數を以て之を分ちし甲乙丙丁戊五名の得了所共小六百五十六圓五十六錢二厘五毛とあり然らハし壬各幾何を得了や

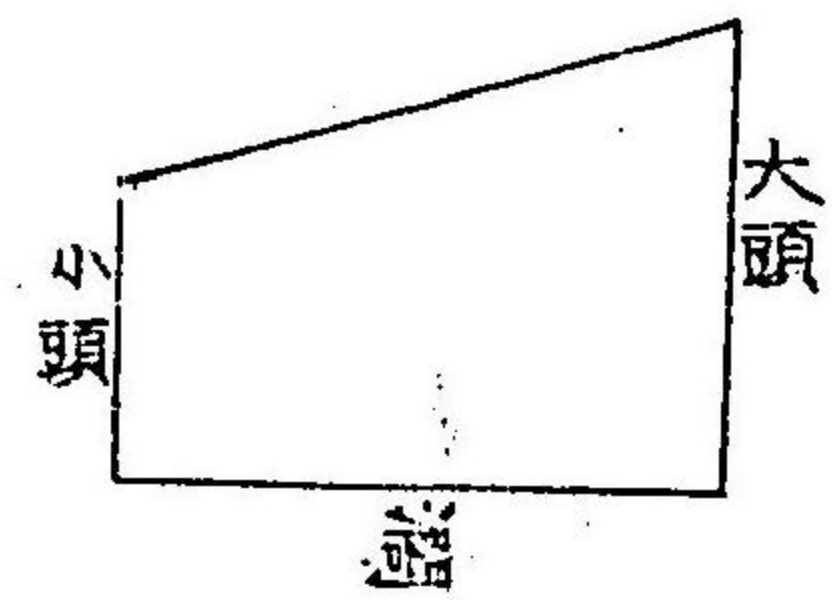
五三

人あり美酒六斗二升五合八一桶を貯蓄を其家族主人の他行中若干を酌出と飲了し水を以て其欠を償ひ次日復同量を出し前日の如く水を以て不足を満し此の如くを了了始終五回小迨了今其殘了酒而已を算す了小二斗四合八勺を存すと然らハ毎日出せし升量幾何ありや

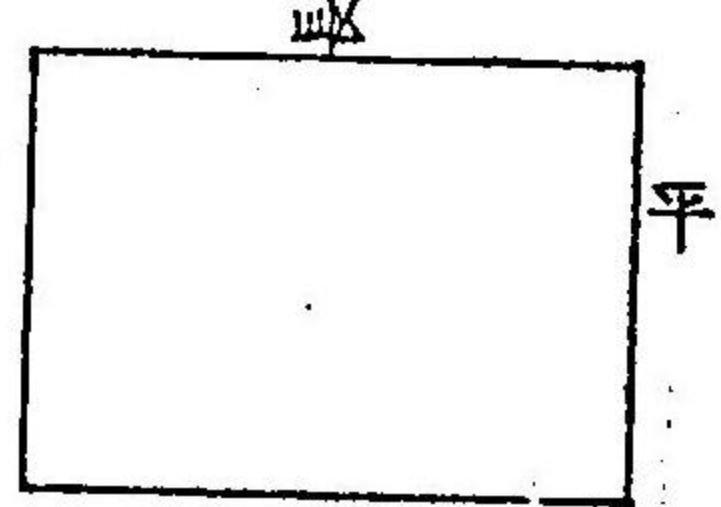
正三角



半梯

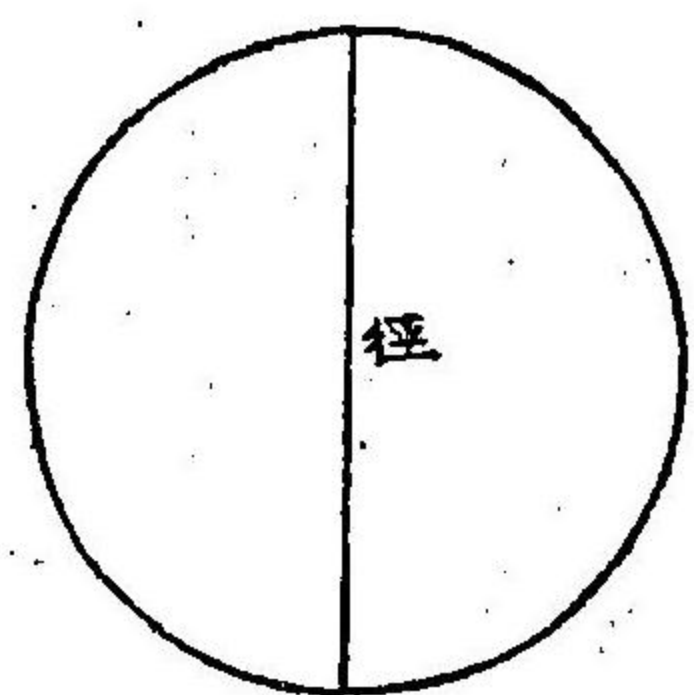


直

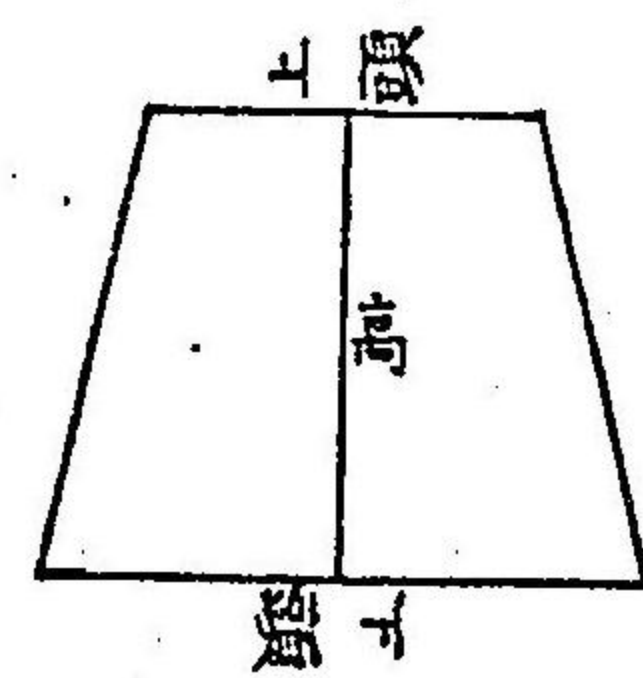


積問

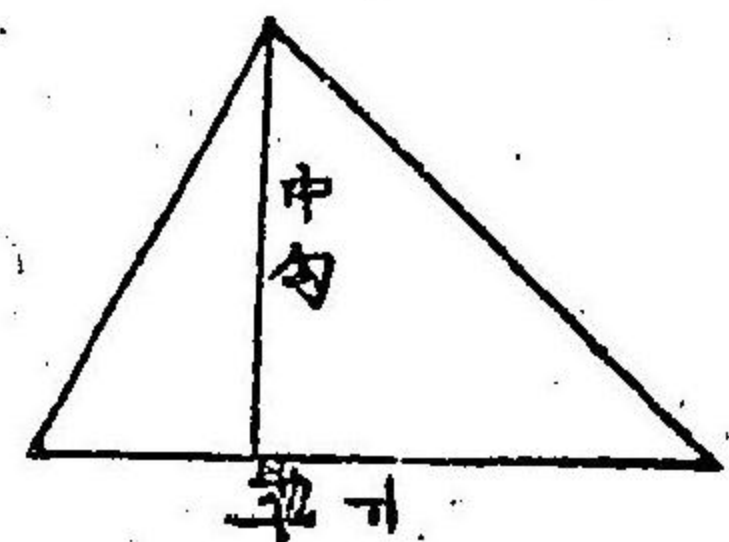
圓



梯



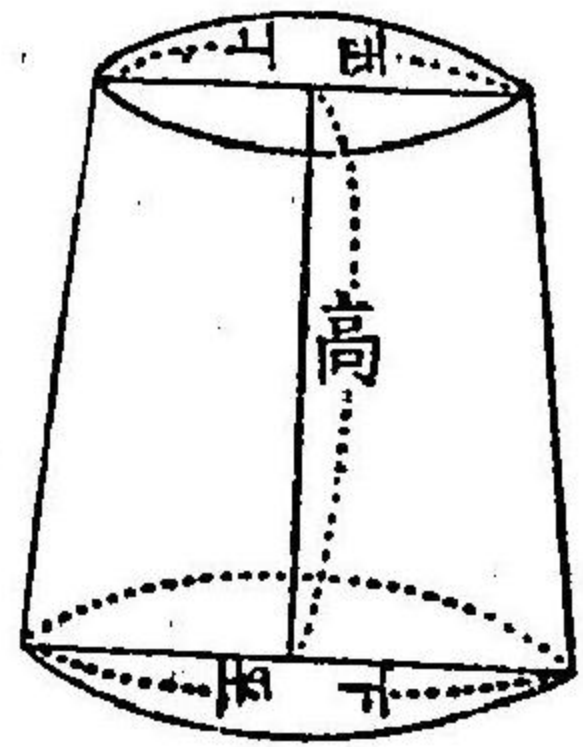
斜三角



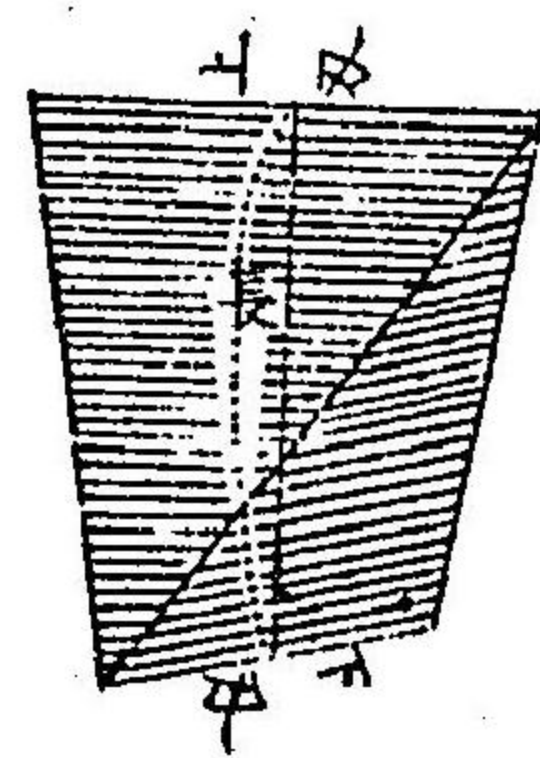
增補新編算學

十一

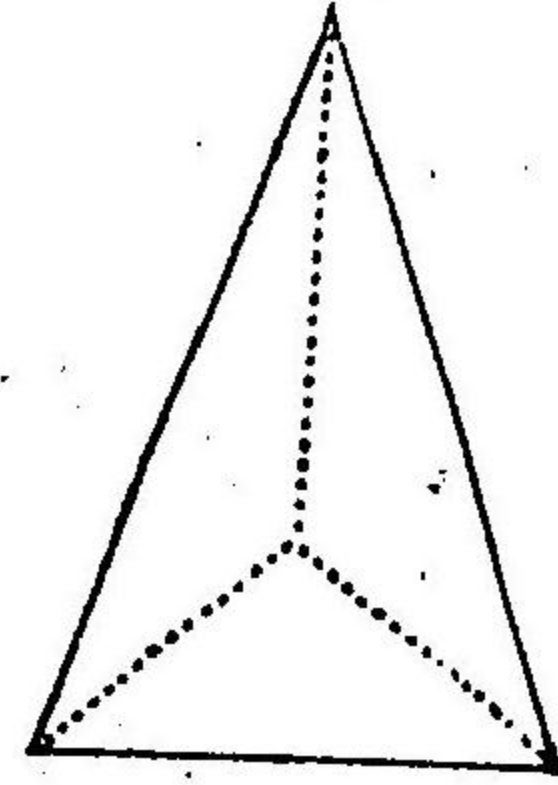
圓臺



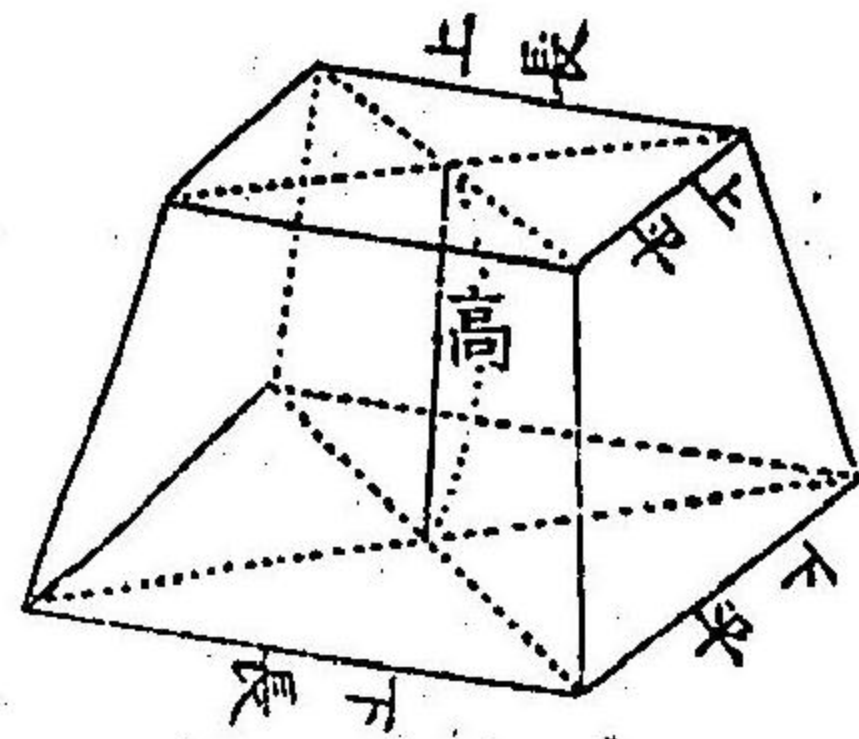
兩双楔



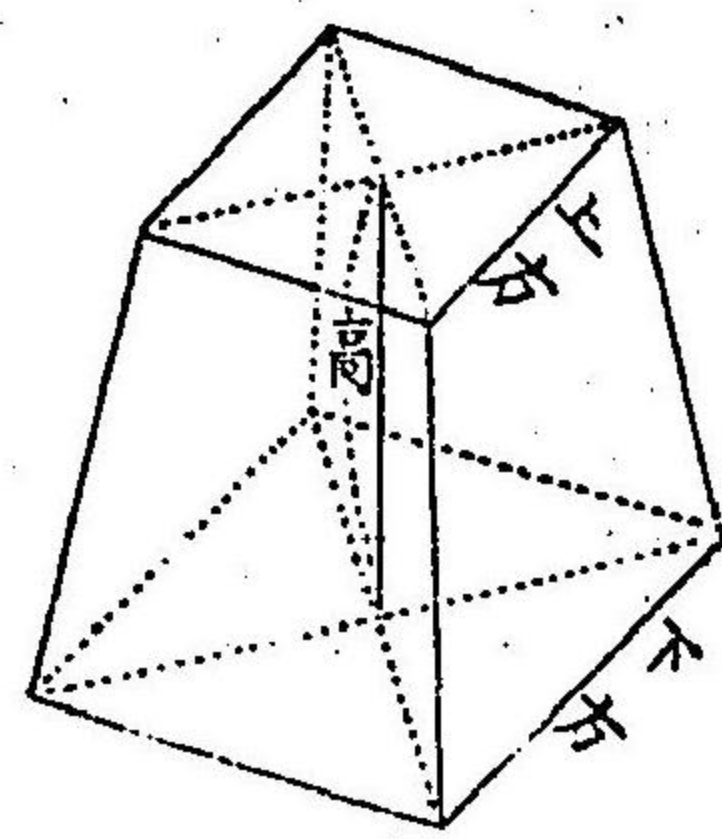
三角錐



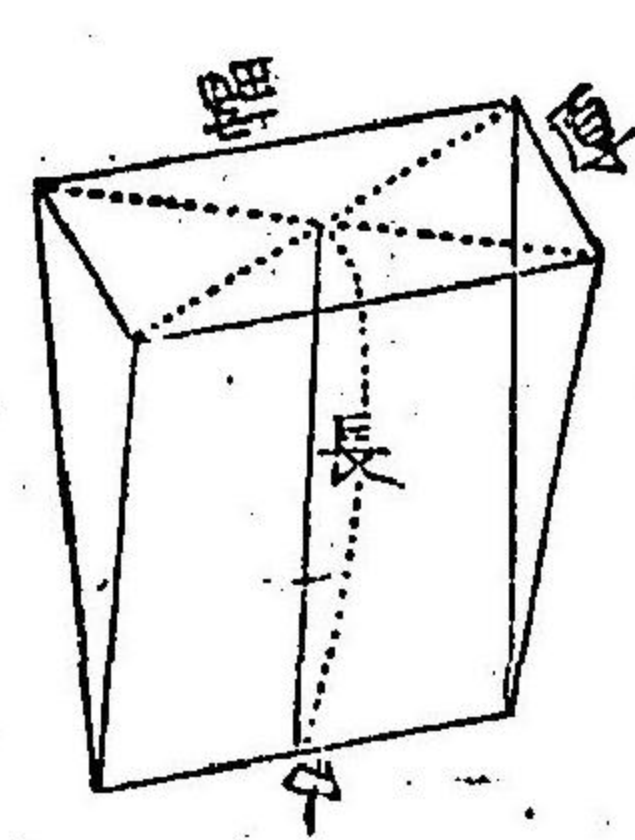
直臺



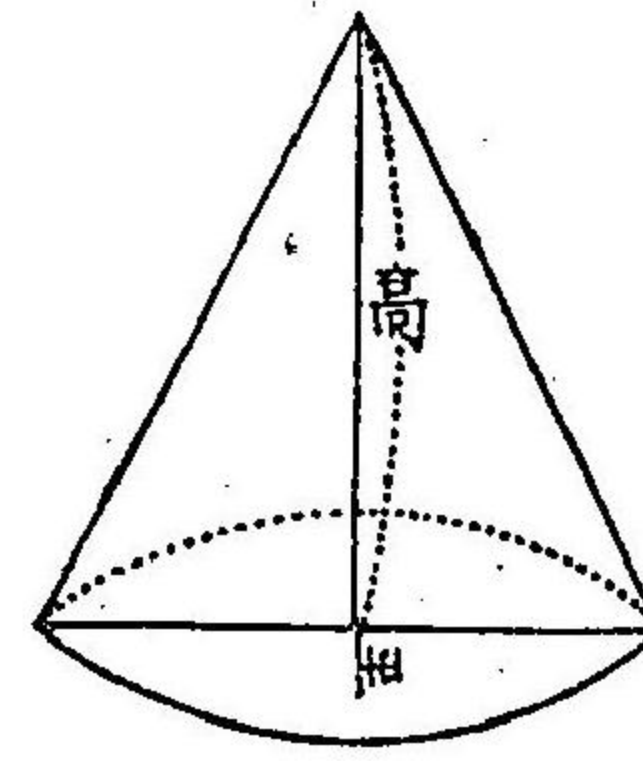
方臺



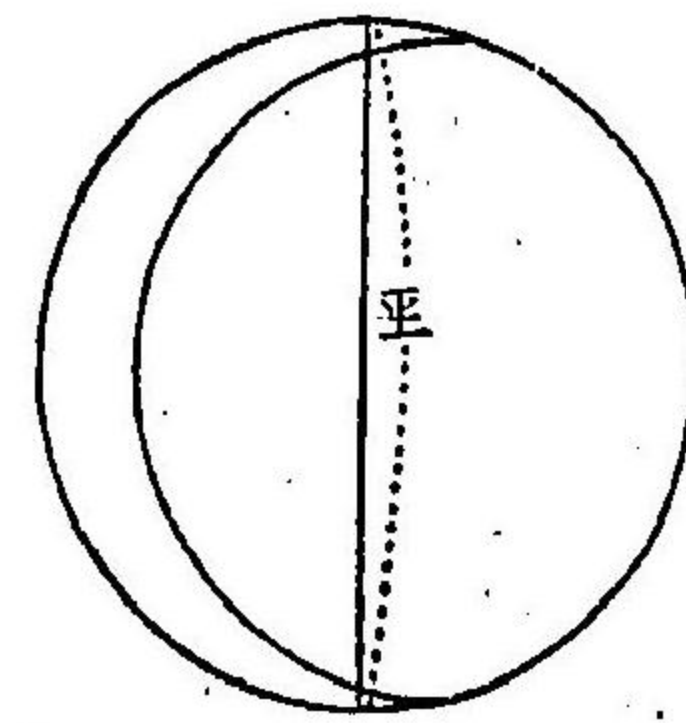
楔



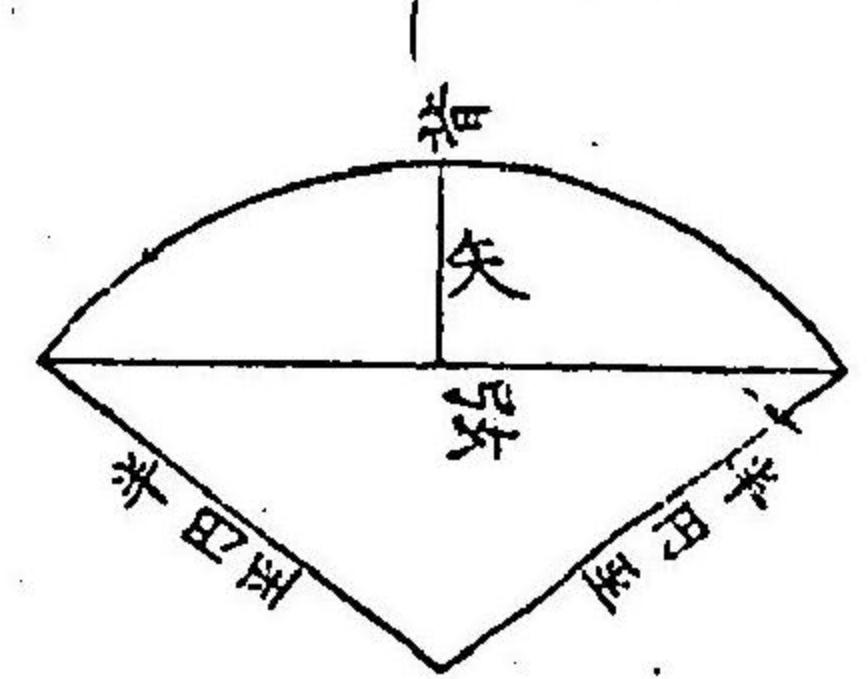
圓錐



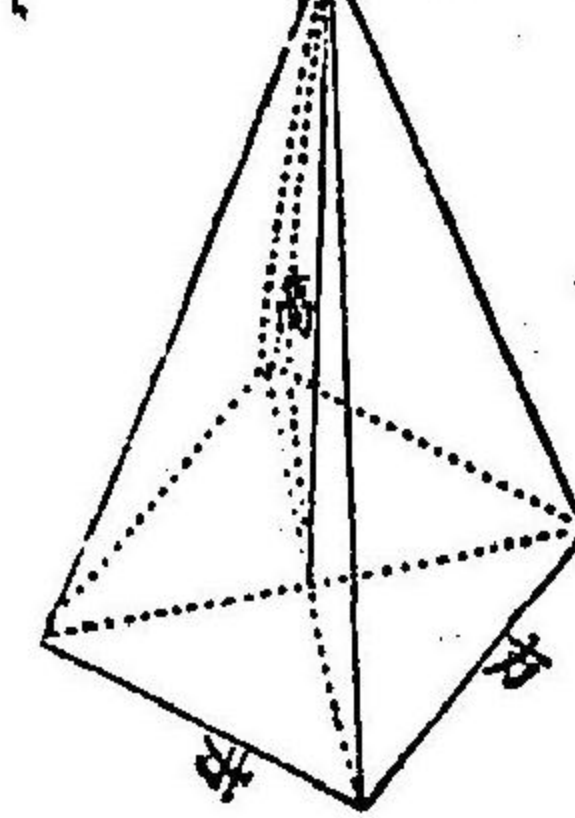
球



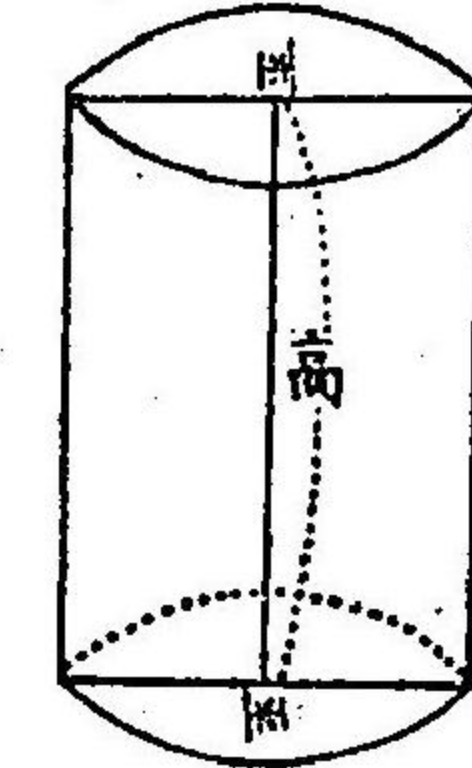
截圓



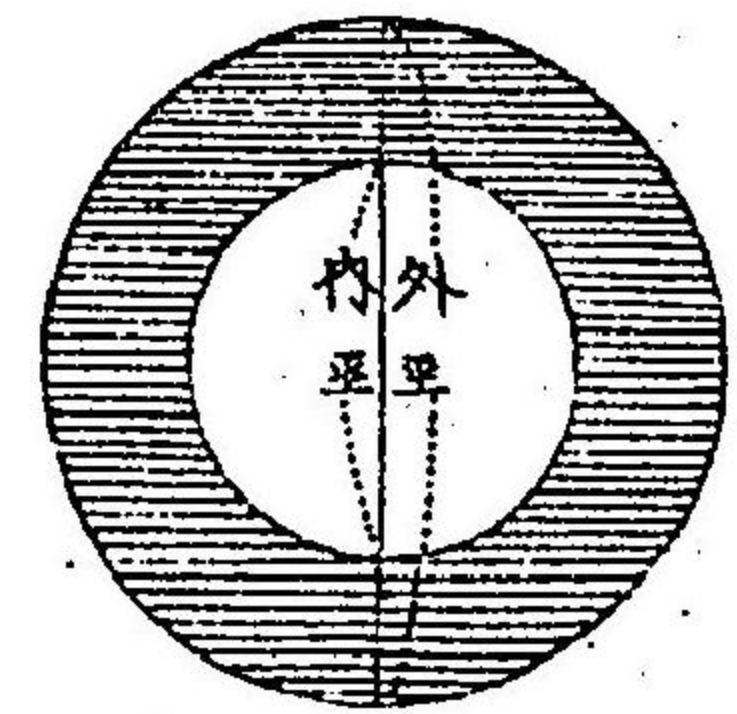
方錐



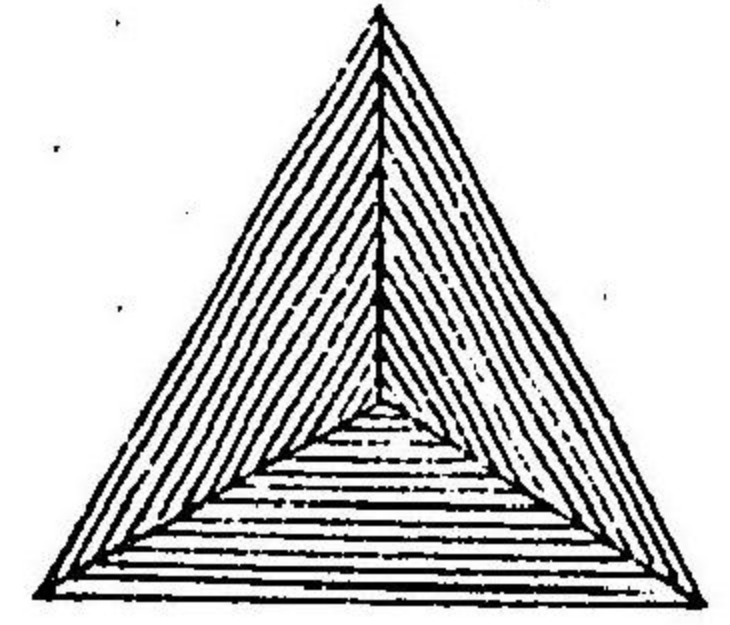
圓壙



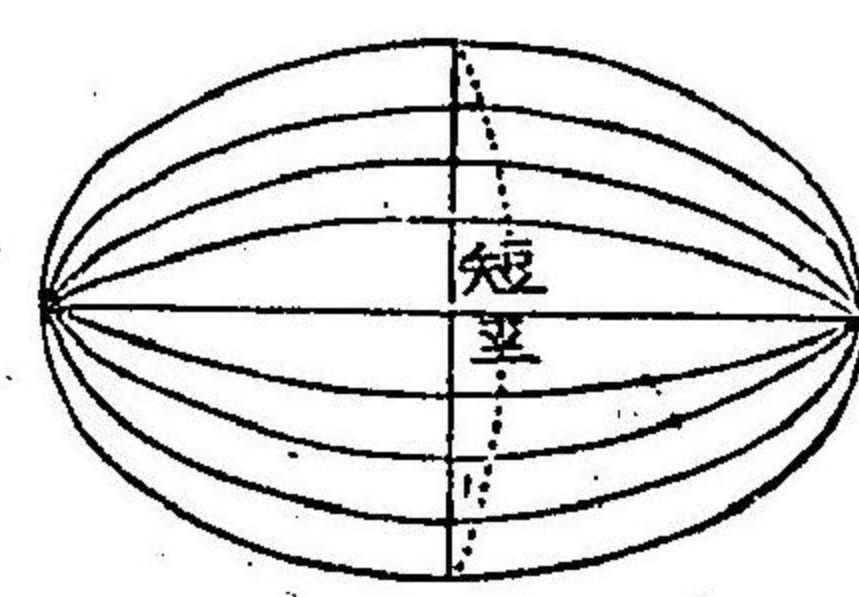
圓輪



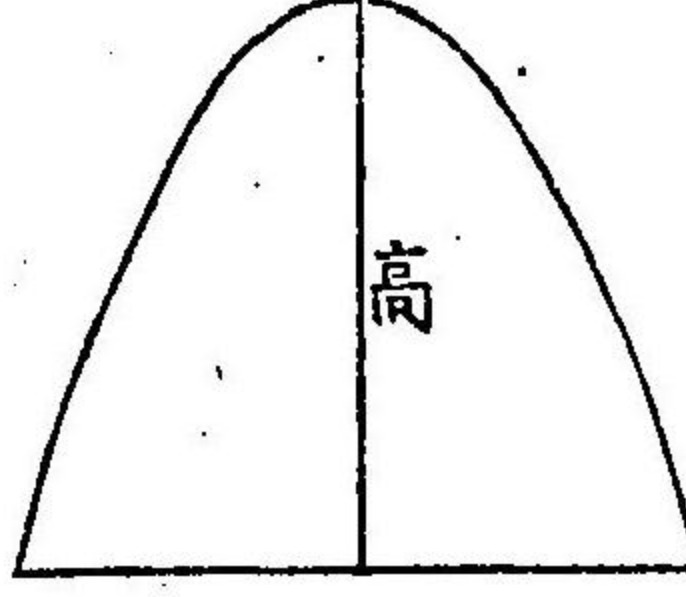
正三角四面体



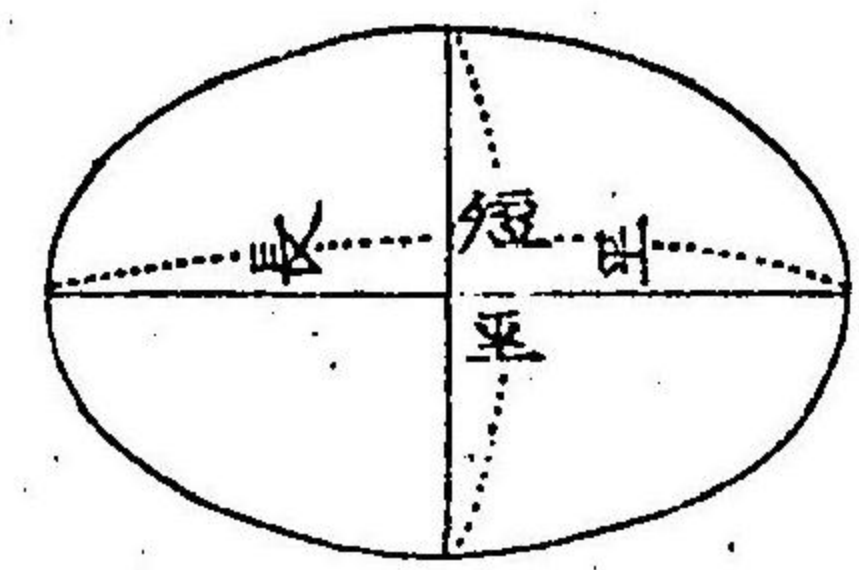
卵体橢圓



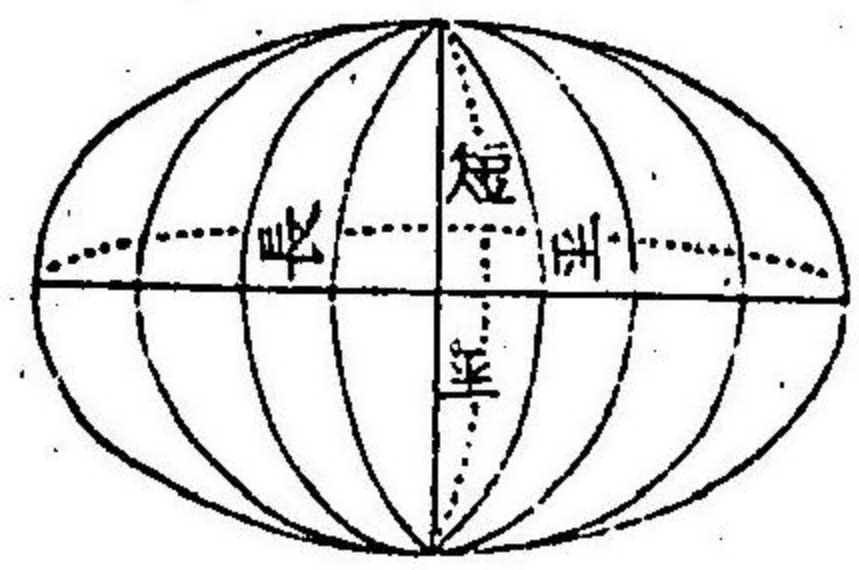
圭竇形



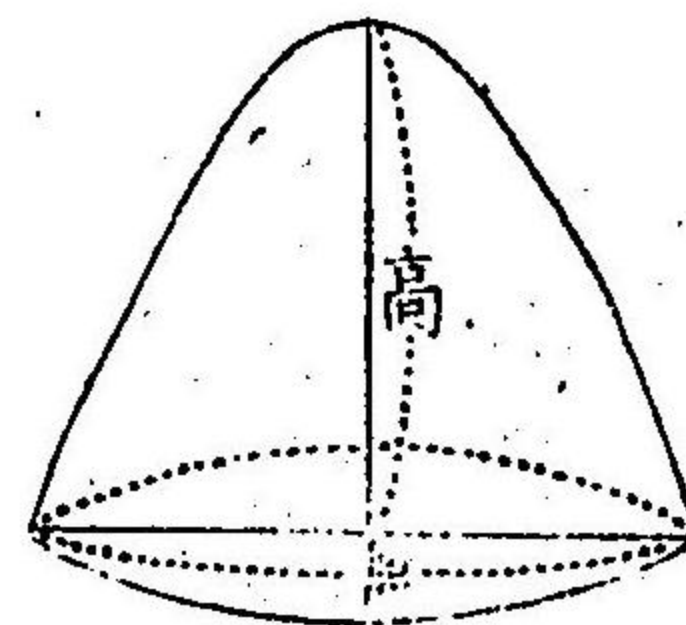
橢圓



橙体橢圓



底圓圭体



一 直あり長五尺六寸平三尺四寸也其積如何

二 直形の地あり長三十九間二尺ゆゑと反別三反二畝一十三歩也其幅如何

三 斜三角あり下斜七尺五寸六分中勾四尺五寸五分也其積如何

四 半梯あり濶九尺二寸六分大頭四尺五寸小頭四尺一寸五分也其積如何

五 梯形の地あり上頭三十八間二尺下頭七十九間四尺高三十六間三尺六寸也其反別如何

六 正三角あり各辺七尺二寸也其積如何

七 正三角あり角中徑七寸五分也其積如何

如何

八 正三角あり其積七百五十方寸也中
勾如何

九 圓あり徑一尺二寸五分也其周圍如
何大約三奇零一四一六を以て円周率とす

十 圓あり徑六尺二寸五分也其積如何
大約奇零七八五四を以て円積率とす

十一 圓あり周圍三尺九寸二分七厘也其
積如何

十二 圓地あり其反別一十六町三反六畝
七步半也此地の直徑暨周圍各如何

十三 截圓あり半徑三尺五寸背五尺六寸
也其積如何

十四 圓輪あり外徑一尺五寸内徑九寸也
其積如何

十五 圓輪あり其積三百七十七方寸七分

十六 七厘七毛四絲外徑二尺五寸也内徑
如何

十七 球あり徑二尺七寸也其寬積外面の積
如何

十八 球あり徑一尺二寸也其積如何

十九 地球の平分直徑大約三千二百三十
五里とす然らば地球の面積如何

二十 圓壘あり徑一尺二寸五分高五寸也
其積如何

二十一 圓壘あり体積二百三十五立方寸六
分二厘高一尺二寸也其徑如何

二十二 圓壘あり高八徑ノ三倍にして其体
積一十萬一千二十二立方寸七厘五
毛也徑暨高各如何

二二 圓錐あり徑二尺二寸五分高一尺九寸也其積如何

三二 圓錐あり體積四百七十一立方寸二分四厘高一尺二寸五寸也其徑如何

四二 方錐あり方二尺一寸六分高一尺九寸四分也其積如何

五二 三角錐あり底辺各六寸高七寸也其積如何

六二 三角錐あり高と底辺各相同ふして體積一百二十八立方寸也其高如何

七二 楔あり幅又各三寸五分厚一寸二分長七寸也其積如何

八二 楔あり幅五寸四分厚二寸三分又四寸五分長一尺一寸七分也其積如何

九二 兩又楔あり上又八寸四分下又六寸

十三 五分長九寸三分也其積如何

七厘長一尺二寸五分ふして上下又相等し其又如何

一三 方臺あり上方八寸下方一尺二寸高九寸也其積如何

二三 方臺あり體積一万九千七百四十六立方寸二分一厘六毛上方二尺五寸

三三 五分下方三尺二寸七分也其高如何

圓臺あり上徑五寸下徑七寸高八寸也其積如何

四三 直臺あり上長六寸上平四寸下長九寸下平六寸高八寸四分也其積如何

五三 直臺あり上長一尺二寸上平一尺下長一尺九寸下平一尺五寸體積三千

二百四十五立方寸也其高如何

六三 正三角四面体あり其三角辺九寸六分也体積如何

七三 正三角四面体あり一面三角積三十分方寸也其積如何

八三 橢圓あり長徑二尺五寸短徑一尺七寸也其積如何

九三 卵体橢圓あり長徑一尺八寸五分短徑一尺二寸四分也其積如何

十 卵体橢圓あり長徑七寸五分体積九十六立方寸也其短徑如何

一四 橙体橢圓あり長徑一尺五寸短徑一尺一寸也其積如何

二四 圭竇形あり下辺一尺二寸高一尺三寸五分也其積如何

三四 底圓圭竇体あり底面直径一尺五寸高一尺二寸也其積如何

四四 長さ二尺の絲二條あり一ハ圓形を作り一ハ方形を作し其方圓の積孰か大小して差ふ一幾何ありや

五四 圓あり其内ふ充て画く方の一辺七寸五分あり其ハ圓積幾何ありや

六四 方地あり其各辺ふ五間を増さハ積二反九畝二十五歩を増さべし原方地反別如何

七四 方の内ふ充て圓を画くあり其方圓兩積の差一百六十方寸九分五厘也

八四 圓積如何

直あり長一尺二寸平三寸五分也之を圍むへき圓の周圍暨積各如何

九四 直形の地あり縦横の割合七と五の比又其差二十六間也此地の反別如何

十五 直形の地あり縦横の差八十一間半小して其反別三町縦横各如何

一五 直形の地あり四辺總計一百四十六間小して其反別四反也縦横各如何

二五 斜三角形の地あり各辺總計八十七間也然る小各辺小接して直計一十二間四尺の圓池あり此地の反別總計如何

三五 截圓あり矢二寸弦一尺二寸也其全圓積如何

四五 圓錐あり徑一尺高一尺二寸也其底面の円積積ハ算入せざ如何

五五 方臺あり積一千四百九十八立方尺

五分小して上方下方高の比六と八と九の如し其上下方高各如何

六五 桶あり上徑二尺八寸下徑二尺四寸深一尺八寸也今之小水液を満んと其容積如何

七五 桶あり上徑八寸下徑七寸深一尺二寸也今之小相應せし容積三斗の桶を製せんとす其上下徑深各幾何小すへきや

八五 桶あり上徑二尺下徑一尺七寸深一尺四寸也今此容積を變へ小して上下徑各一寸を減少せん小ハ深幾何小して可ぬりや

九五 地圖あり圖中の面積二方尺二分五

厘にして其圖式一里を一寸縮
了者也此地の幅員反別を以て称せ
ハ如何

十六 斜三角形の地あり其各辺を驗す
ハ一十二間と一十七間と二十一間
也此地反別如何

雜問

- 一 人あり金若干圓を貯へし小費事ありて七十五圓を耗し復殘金の五分の二を耗き由て今有る所僅小二十七圓也原有貯金如何
- 二 金一千圓あり甲乙丙三名ハ之を分つ其得る所乙ハ甲の二倍より六圓多く丙ハ甲乙の和より二十二圓多し各名得金如何
- 三 若干金あり分て甲乙二名ハ同利法單を以て同時小貸す其元金甲より乙ハ三百二十圓多き由り二ケ年の元利甲ハ一千二百三十二圓乙ハ一千五百九十圓四十錢を算ふ此年利法暨各元金如何

四人あり金五百圓を分て甲乙二人小貸し二ヶ年を経て息金共小一百二十四圓を受納を其年利甲八一割一分乙八一割三分也と云各名借受し金高如何

五一商あり一石小付二圓三十錢小て小麥一百八十石を買入れ之を八ヶ月貯へし小量の減を了し一百分の九小速了今之を一石小付二圓八十錢五厘小賣ら八年利一割四分を以て八ヶ月の利息を算計を了後知らず損益幾何金ふりや

六一商あり羅紗四丈八尺を代金四十圓五十四錢四厘小賣り七尺六寸八分の元價程を利すと云此利潤の

割合暨尺毎の元價各如何

七大豆若干石あり穀商某其定相場の八分を減し乃ち金一圓小付二斗三升五合小て之を買入れ其後右定相場より一割五分高直小之を賣ると云其賣相場金一圓小付何程ふりや

八一商あり米三十六石を買入れ金一圓小付一斗八升五合の相場小て賣り二石七斗を利すと云此利潤の割合暨石毎の元價各如何

九牧商あり毎一頭價三十圓小て牛を買ひ八ヶ月の掛賣を以て三十七圓六十六錢宛小之を賣り其月利法一分五を以て算せハ即今每一頭の利金幾何ふりや

十 布木綿合せて一百端あり其價共小
一百圓小して布ハ一端小付一圓七
十二錢五厘木綿ハ四十七錢五厘也
各品端數如何

十一 商夫あり每一斤價二圓一十八錢と
一圓七十三錢の茶共小七十五斤を
買入れ之を混和せし小一斤一圓九
十七錢小當りと云各種斤量如何

十二 金八十圓あり甲乙丙三名をして分
を差へて之を取らしむ其得金甲よ
り丙ハ一十八圓少くして甲乙の和
とし丙の和とハ正小七と五の比を
みせり各名得金如何

十三 米麥豆の三品あり其價を比せハ豆
一石ハ麥一石三斗小當り麥一石四

十四 斗ハ米一石小當り今米豆併せて五
十八石あり麥小換ふれハ七十八石
八斗あるへし此米豆石高各如何

十五 一商あり二種の茶を買入り其價毎
一斤一圓二十錢と八十四錢也今此
好品七斤小下品五斤の割合を以て
混和し每一斤一圓一十一錢三厘小
賣らハ知らむ其損益割合如何

十六 一商あり每一斤四十八錢の茶を有
す之小每一斤三十五錢の茶を和し
每一斤四十四錢小賣り以て二割を
利せんと欲し好品二十五斤小下品

十七 幾何を和して可ありや
某地方小於て小麥を粉抹するあり
麥を粉小するの減勘二割五分也然

3 小其製造の麥の粉國用不足らず
して尚一万二千石他國より輸入せ
ざるを得き倘し右減勘一百分の五
かりせハ國産の小麥にて足るへし
其國用の麥の粉總計如何

七十
一 商あり米若干石を賣る其相場金
一圓小付一斗四升四合小して總計
一十二圓を利せり倘一斗六升あら
ハ當小六圓七十五錢を損すへしと
云ふ石毎の元價如何

八十
時辰儀二器あり其一ハ毎日進む
二分五秒今一ハ一分七秒後了此兩
器を正合装置せし小土曜日午前第
九時小速て兩器の差一十九分を生
ず正合せし其日如何

九十
一 商あり時計一器を價若干圓小て
買ひ其二割五分を修理小費し然る
上之を賣りて一割一分を利す倘し
其賣代の中八圓を欠き余ハ五分を
損すへしと云時計の原價如何

十一
甲乙丙三工あり工價一十六圓八十
錢小て一事を請負ふ甲一名小て當
ハ四十日乙一名ふらハ四十八日小
成すへき業也然る小三工俱小其事
小取懸り若干日の後甲ハ五日半乙
ハ四日休業す故小始終一十八日小
して成就せり各工作業小應し分ち
得へき工價如何

十二
甲乙丙丁四工あり一事を當作し工
價三百二十三圓を得て之を分つ然

了各工作業の捷否を驗する小甲
乙丙三工一十日の業ハ乙丙丁三工
七日半又ハ甲丙丁三工八日讞ハ甲
乙丁三工八日七分四の業小同し各
工至當の配分金如何
酒商あり二種の酒併せて四十六石
を買ふ其價石小付上ハ二十一圓下
ハ一十五圓也此兩種を混和し一石
一十八圓六十錢小て之を賣り一割
五分を利すと云上下酒石數各如何
人あり一年六分の利附ふ其會社
元備金證券を實價若干小て買ひ其
利金を精算する小年利八分小て他
小貸すよりハ益ふる右利金の一
十五分の一也と云證券實價如何

田池若干あり其貢租金一百九十二
圓と米若干石也故小米價石小付五
圓六十錢ふより三圓八十錢ふ
時ハ貢金総計小於て一割五分少し
右小若干石とい幾何ふるや
三種の俵米共小九百俵あり每一俵
甲ハ四斗乙ハ三斗七升丙ハ三斗五
升を容る又丙の俵數ハ甲の三分一
小して三種石高總計三百四十一石
四斗也各種俵數如何
一池あり周辺二百七十二間也今甲
乙二童其反對の点小在り一齊小發
し此周辺を左旋小走其速毎一分
時甲ハ二十一間乙ハ一十九間半也
甲幾何度旋らハ乙小追及ふへや

七二 人あり金一百圓を以て甲乙二種の酒を買んとす甲酒六石五斗乙酒一石五斗を買ハ二圓を残す又甲酒六石乙酒二石五斗を買ん小ハ五十錢不足すへしと云各酒一升の價如何水桶あり三管を附す甲乙二個ハ入管ふして甲ハ三時ふ之を満し乙ハ四時ふ満す又丙ハ出管ふして満水を一時ふ次くへし今此空桶を午後第三時小甲を開き第四時ふしを開き第五時小丙を開かハ第何時ふ至り復空桶とさるへきや
 九二 郊野小馬を繋ぎ其馬をして反別四反三畝一十九歩を限り草を食たくめんとす綱の長さ幾何小すへきや

十三 一商あり金一百六十九圓を以て縮緬若干匹を買入れ一匹ふ付一圓の息を加へて之を賣り正ふ一匹の原價を利すと云右小若干匹とハ如何
 一三 輕氣球空中を翔るあり某の平原ふ於て其高を知らしめんため繩を降し地上ふ達す爰ふ人あり其繩の端を把り先氣球横行の速を測り而して其二倍の速を以て同方向ふ一十間走り小繩地を離る二三尺也氣球の高如何
 二三 三等の酒あり其價一升ふ付上ハ一十六錢中ハ一十三錢下ハ九錢也今此三酒を混和す小上中酒量相等しきを要し一升代價一十二錢ふ

算術新集卷之三
 十三

もの一石五斗四升を調へんとす各
酒量幾何を和すへきや

三三

一商あり甲乙丙三種の茶を買ふ乙
酒ハ丙の二倍小して三種合せて二
百六十四斤其價每一斤甲ハ一圓二
十六錢乙ハ一圓一十三錢丙ハ八十
六錢小して平均一斤の代價一圓一十
錢小當ると云三種の斤量各如何

四三

商夫三名あり甲商開店せし三ヶ月
の後乙商之小加り復六ヶ月の後丙
商加入せし小より資本一千六百二
十圓を捻計す其後六ヶ月を経て勘
定し利潤の配分甲ハ一百圓乙ハ四
百圓丙ハ一百二十圓也各商の資金
幾何なるや

五三

人あり東京府小行く其距離一百六
十三里六町也毎日歩む所晴天小ハ
九里半雨天からハ六里二十二町小
して泊すへしと故小一十九日を費
し到着すと云其晴雨日數各如何

六三

人あり甲府より乙府小行く其距離
一十四里三十四町小して上り地あ
る小由り一十二時半を費して到れ
とも帰路ハ一十時半小して甲府小
着す其歩の速き毎一時上りハ一里
六町下りハ一里二十七町也平地小
らハ每一時幾何を行くへきや

七三

甲乙二名同所より同方へ同時小出
足すあり甲ハ旅行毎日一十八里
かりし小九日を過ぎ故ありて乙の

九日路を退旅し復以前の方向に進
 こし追及へり其日數總て二十二
 日半也しの旅行毎日幾何里あるや
 八三 周辺五十三間の池あり甲乙丙三名
 の童子其一点に在りて同時歩を
 初め同方之を旋り其速毎一分時
 甲ハ一十六間乙ハ一十間丙ハ六間
 とせハ幾何時を經て三名一處に會
 すへきや

九三 天地人三号の輪路あり各周の距離
 等しからす其三路一点の交處あり
 茲ハ三名の童其交處を一齊に發し
 て甲ハ天路を旋り七分時一周し
 乙ハ地路を旋り一十分時一周す
 又丙ハ人路を三十五分時一周す

速を以て旋り然らハ幾何時を經て
 三名會合すへきや

十四 水夫あり河水に小舟を漕ぐ一里半
 の所を下行し二十分時不達すと倘
 し靜水ならハ此距離を半時不漕ぐ
 へし今其距離を上りせハ幾何時を
 費すへきや暨一時毎の水流各如何

一四 人あり一年八分の利附ある某銀行
 の證券を有し年々利金四百圓を得
 たり然るふ之を實價八十一にして賣
 り以て一株五十圓ある鉄道社中の
 證券を實價二十七圓にして買得る不
 由り毎年利金五十圓を増すと云鉄
 道證券ハ一年幾何の利附あるや
 二四 人あり等しき金高を以て甲乙二号

の證券を買置く甲ハ一年六分の利
附小して實價八十二半乙ハ七分の
利附小して實價を忘る然れ共年々
得る所の利金甲としとハ三十四と
三十五の比を爲すと云乙号の實價
如何

三四

人あり米と麥同石數を買ふ其米の
代價を以て麥を買ハ六十三石を得
へく又麥の價ふて米を買ハ二十八
石を得へしと云右小同石數とハ幾
何を云へるや

四四

人あり一月一分五の單利法にて金
若干圓を貸せし小若干月を経て元
利共小若干圓を受納す若し利法一
分ありせハ右元利より一割二分少

かゝるへしと云此月數如何

五四

船あり海岸を距る四十里小して船
底小突然孔を生し四分時毎小水六
石二斗五升を浸入す其水三百石小
満てハ此船沈むへし然れとも一時
毎小六十石を注棄すへる竜吐水あ
るに憑り將小沈まんとす期小海
岸小着船す一時毎の航幾何里の速
かゝるや

六四

甲乙二人同所より東京小行くあり
乙ハ每一時二十七町の速を以て午
前第八時小出發し七時間を経るハ
東京より七里此方小到るへし又甲
ハ乙より二時間後小發足し午後第
一時東京より九里半此方小着す第

何時小至りあハし小追及ふへきや
 黄金七匁六分を以て方三寸鉞二千
 葉小打擴むと今此鉞を積り累ね厚
 一寸あらしめんふハ幾何葉を要に
 へきや但金一寸立方の衡量一百四
 十七匁七分四厘四毛とす
 八四 金と銀其割合三と四を以て親和せ
 る一塊あり水中小て量れハ重き二
 百匁を失ふ之一百匁の金ハ五匁一
 分六厘五毛銀ハ九匁五分四厘八毛
 を失へハ也此塊の分離重量各如何
 九四 甲乙丙三人あり與小資金五千六百
 二十六圓を以て商を開く各名資金
 を入置く一甲ハ五ヶ月乙ハ七ヶ月
 丙ハ九ヶ月也而して利潤一千二百

六十圓を得各名資金の多寡暨月數
 小應して之を分てハ甲四圓を取
 るらハ乙ハ五圓丙ハ三圓の比ある
 へきを乙竊小二千一百六十四圓五
 十錢を取て身を隠す此所爲小因り
 甲丙損益を知らず幾金あるや暨三
 名の資金各如何
 九五 人あり三子小産を分ち金二万五千
 一百四十圓を與ふ各子今年の齡長
 子ハ十七次子ハ十五末子ハ十三也
 然る小父の謂く此金を年利七分半
 單利小て銀行小預入し各子二十一
 歳小達ふ時等金を得せしめハ當小
 公平あるへしと即今分ち置へき金
 員各如何

新撰數學卷之

改正
增補
新撰數學卷之下終

定價
五錢

Handwritten notes:
L. 10
Zurück zu
L. 10
L. 10

